

沼ッ原湿原（那須塩原市）の カエル・サンショウウオの夕べ



この日は満月、結構明るい。



アズマヒキガエルのお出迎え



観察には真冬の装備が必要だ



ヤマアカガエルの鳴き声が賑やか



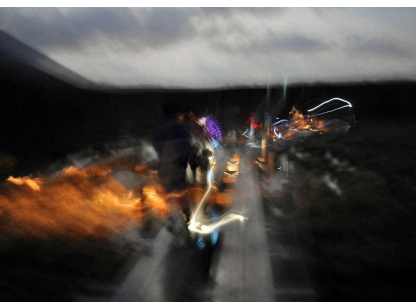
アカハライモリが多かった



しがみついて離れない
クロサンショウウオの雄



ヤマアカガエルの卵塊



フラッシュなしだとこんな風



クロサンショウウオの卵のう

2012年5月5日、那須塩原の沼ッ原湿原で栃木県立博物館主催の観察会「カエルとサンショウウオの夕べ」が行われた。カエルやサンショウウオは、暗くなってから元気に動くので、集合時間は**18時30分**。当日は**突然の雨、ヒョウ、雷**のため、15分ほど遅れて観察会が始まった。両生類たちは雨が大好きで、雨上がりは観察のベストコンディションでもある。

この日、観察できた両生類は全部で4種類。**アズマヒキガエル**と**ヤマアカガエル**は産卵シーズンの始まりといった感じ。アズマヒキガエルの鳴き声はまるでニワトリだ。「コッ、コッ、コッ、コッ」大合唱が始まると、山の中に養鶏場があるみたいだ。一方、ヤマアカガエルの鳴き声は「フフフッ、フフフッ」笑っている。静かな月明かりの湿原に響くカエルのコーラスには心底、癒されますよ。（アズマヒキガエルはまだ卵がなかったので、この日が産卵開始日だったかもしれない。）

有尾類（しっぽのある仲間）では、**アカハライモリ**と**クロサンショウウオ**。クロサンショウウオの卵のうは写真で見るように「真っ白」だ。白い寒天のような卵のうは、とてもきれいでおいしそう（食べるときつと歯ごたえが……。でも味はしないでしょう）。イモリやサンショウウオの仲間は、カエルと違って鳴いたりはしない。彼らだけだと、本当に静かだろうね。

2時間があっという間に過ぎ、観察会は**21時ごろ解散**となった。帰りの高速道路はGW中の行楽から帰る車で渋滞し、佐野市に戻ってきたのは夜中の24時を回っていたが、充実した一日だった。